

## 『国際政治』第173号原稿募集

### 「イギリス外交の独自性と多面性」(仮)

近年、グローバル・ヒストリーの観点から国際関係史の再検討がすすんでいます。イギリス外交についても、従来の政策決定過程や相手国との二国間関係の分析を越えて、複数の国や組織の所蔵史料にもとづき、複数のアクターとの相互認識・相互作用に着目したり、外交の対象分野をより広くとらえるなど、新たに多角的・総合的な視点からの見直しがなされつつあります。

とりわけ第二次世界大戦後のイギリスは、アメリカとのいわゆる「特別な関係」、EC/EUとの両義的な関係、旧帝国・英連邦の中心、王室の存在、移民・難民・留学生の先駆的受け入れや人権をめぐる国際規範形成の担い手としての経験など、多様な特色を生かした独自の外交を試みてきました。その背景には、冷戦と脱植民地化、ポスト冷戦とグローバル化・地域統合の進展など、国際環境の変容と交錯があり、イギリス外交はこれらの特色や背景による制約も同時に受けてきました。

本特集では、このようなイギリスの独自外交と背景、成果と限界を多面的に分析することで、戦後の国際政治・国際社会における新たなイギリス外交像の立体的再構築をめざしたいと考えます。その際には、市民や非政府組織を対象にしたトランスナショナルな民間外交にも着目する必要があります。また、従来の政治、経済・開発、安全保障にとどまらず、最近研究が盛んな文化政策をはじめ、社会開発、教育、保健医療、人権に関する国際規範形成など、より多くの分野における外交政策の検討や、他国の外交との比較分析なども歓迎いたします。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと要旨を600～800字程度にまとめ、自宅・勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレスを明記して、2012年7月31日(請期限厳守)までに下記の編集責任者にメールでお送り下さい。テーマとの関係、本特集号の全体構成などを総合的に検討したうえで、執筆をお願いする方には2012年8月31日までにご連絡いたします。なお、論文提出の最終締切は2013年2月28日、論文の分量は注を含めて必ず2万字以内とします。ご提出いただいた論文は、2名以上の査読者による査読の対象となります。修正を含め、最終的な掲載の可否は査読後に決定しますので、この点を含めてご了承ください。

執筆要領については学会ホームページをご参照下さい。要領を遵守してのご執筆をお願いします。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お申し込みやお問い合わせは、以下の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 都丸潤子

《連絡先》 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学  
政治経済学術院

電話 03-5286-1287 FAX 03-3204-8957

E-mail: j-tomaru★waseda.jp (★を@に置き替えてください)